

1. 事業別日本参加青年の応募者の属性

	R1育成		R3育成		R1日中		R3日中		R1日韓		R3日韓	
学生	86人	80.4%	27人	67.5%	44人	83.1%	35人	94.6%	42人	82.4%	39人	88.7%
社会人	14人	13.1%	10人	25%	8人	15.1%	2人	5.5%	5人	9.9%	5人	11.4%
その他	7人	6.6%	3人	7.5%	1人	1.9%	0人	0%	4人	7.9%	0人	0%
計	107人	100%	40人	100%	53人	100%	37人	100%	51人	100%	44人	100%
男	30人	28.1%	10人	25%	16人	30.2%	9人	24.4%	11人	21.6%	5人	11.4%
女	77人	72.0%	29人	72.5%	37人	69.9%	27人	73%	40人	78.5%	39人	88.7%
計	107人	100%	39人	97.5%	53人	100%	36人	97.3%	51人	100%	44人	100%

※ 参加申込書に記載されている内容を基に内閣府青年国際交流担当室で作成

※ 応募者数とは、内閣府青年国際交流事業の参加申込書を提出した者であり、参加申込書提出後に選考を辞退した者も含む。

※ 令和元年度については、都道府県等の一次選考で非通過者4名の属性を聴取していないため応募者数から除いている。

※ 令和3年度事業については、参加申込書の性別欄に「無記載でも可」とし、一部性別を聴取していないため、男女の合計が100%とならない。

2. 事業別日本参加青年の応募者の属性

	R1東ア		R3東ア		R1世界		R3世界	
学生	90 人	81.9 %	65 人	67.8 %	310 人	81.0%	71 人	65.2 %
社会人	17 人	15.5 %	27 人	28.2 %	62 人	16.2%	35 人	32.2 %
その他	3 人	2.8 %	4 人	4.2 %	11 人	2.9%	3 人	2.8 %
計	110 人	100 %	96 人	100 %	383 人	100%	109 人	100 %
男	44 人	40.0 %	19 人	19.8 %	125 人	32.7%	24 人	22.1 %
女	66 人	60.0 %	76 人	79.2 %	258 人	67.4%	84 人	77.1 %
計	110 人	100 %	95 人	99 %	383 人	100%	108 人	99.1 %

※ 参加申込書に記載されている内容を基に内閣府青年国際交流担当室で作成

※ 応募者数とは、内閣府青年国際交流事業の参加申込書を提出した者であり、参加申込書提出後に選考を辞退した者も含む。

※ 令和元年度については、都道府県等の一次選考で非通過者4名の属性を聴取していないため応募者数から除いている。

※ 令和3年度事業については、参加申込書の性別欄に「無記載でも可」とし、一部性別を聴取していないため、男女の合計が100%とならない。

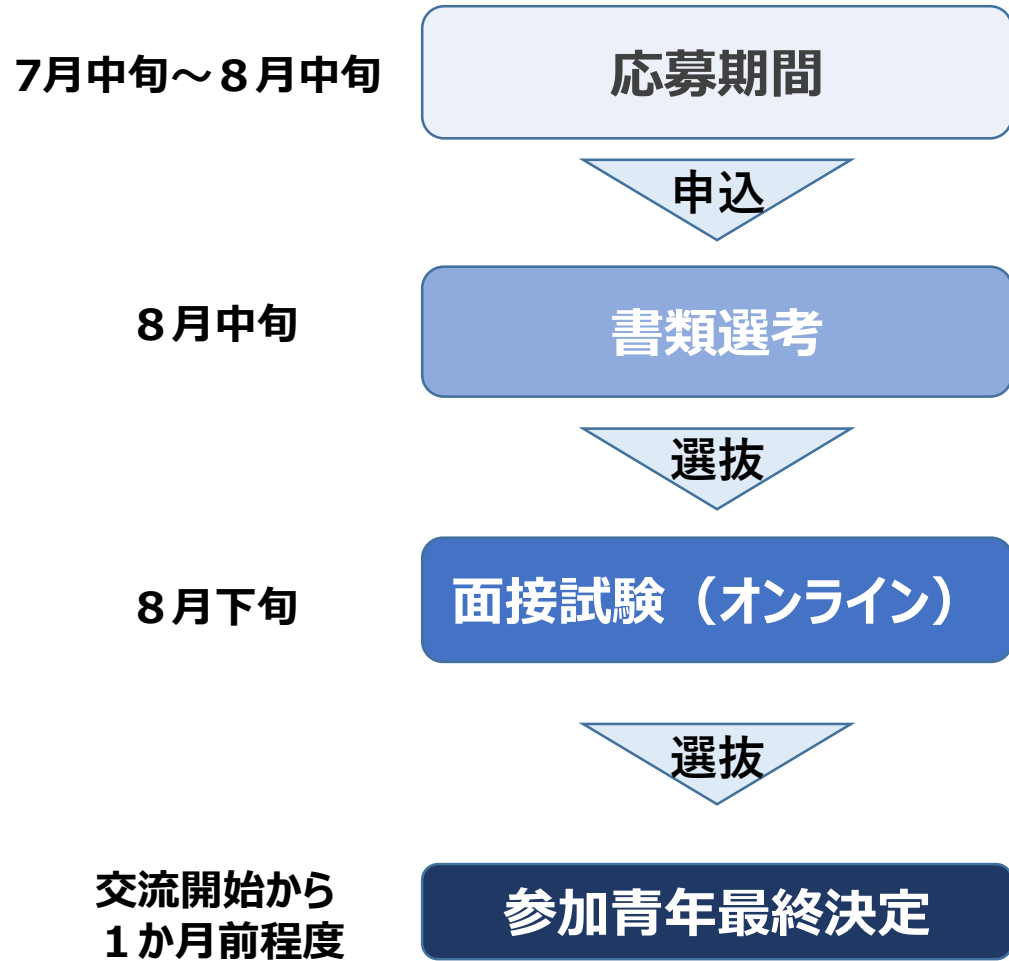
3. 令和元年度内閣府青年国際交流事業募集に係る広報効果について（事業別）

- 令和元年度事業別「内閣府青年国際交流事業を知ったきっかけ」について

内閣府青年国際交流事業を知ったきっかけ（複数回答可）

	育成	日中	日韓	東ア	育成
親族、友人（既参加青年を除く）からの紹介	29.9%	26.4%	39.2%	27.3%	31.9%
既参加青年からの紹介	29.9%	35.8%	31.4%	55.5%	56.1%
所属先（大学・勤務先等）の広報媒体を見て	22.4%	37.7%	37.3%	34.5%	19.8%
ポスターを見て	7.5%	7.5%	17.6%	5.5%	5.0%
リーフレットを見て	1.9%	1.9%	3.9%	2.7%	2.3%
内閣府ホームページを見て	39.3%	47.2%	43.1%	27.3%	28.2%
IYEOホームページを見て	7.5%	7.5%	9.8%	11.8%	7.8%
Facebookの広告からアクセスして	11.2%	11.3%	11.8%	16.4%	13.6%
地方公共団体の広報を見て	1.9%	0.0%	2.0%	0.9%	1.0%
事業説明会に参加して	7.5%	1.9%	9.8%	13.6%	6.3%
帰国報告会に参加して	3.7%	1.9%	9.8%	15.5%	5.2%
その他	7.5%	1.9%	3.9%	10.9%	9.9%

4. 日本青年選考の流れ及び試験内容（令和3年度 オンラインでの交流事業を実施した際の例）



内閣府を窓口として
ワンストップで実施

応募者は、内閣府に応募書類を提出

- 参加申込書（履歴書に相当）
- 作文（志望動機）

応募書類を基に、内閣府で書類選考

内閣府において、下記試験をオンラインで実施

面接の比重を高く設定

- 個人面接（10分）
- 英語グループ面接試験（20分）※日中・日韓事業を除く
- グループディスカッション（30分）
※育成事業の社会人枠のみ

面接試験結果を基に、参加青年を決定
事前研修は、参加青年決定後に実施

※事業応募に当たっては、事前・事後の研修を含む全日程の参加を応募要件とし、参加申込書中で応募資格を有する旨確認（誓約書の提出は求めている）
※令和元年度まで行っていた筆記試験は実施していない。

5. 併願について（令和元年度、令和3年度との比較）

- 平成30年度から併願可能（参加できる事業は一つ）、併願事業ごとに選考を受ける必要あり。

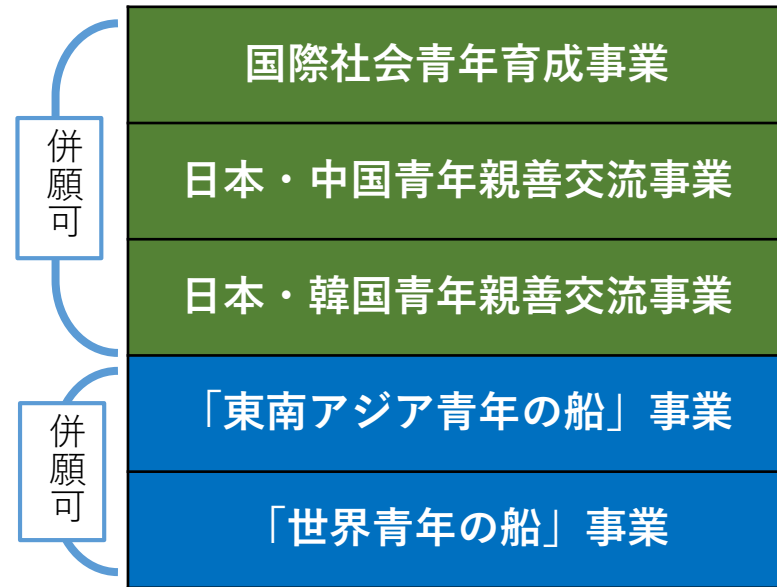
平成30年度・令和元年度対面交流の例

派遣期間、プログラムの実施時期を踏まえて、

- ・航空機事業は航空機事業内で併願可能
= いずれも派遣期間2週間程度
= 実施時期 育成 1月頃
日中・日韓 11月頃

- ・船事業は船事業相互に併願可能
= 交流期間1か月半～2か月程度
= 実施時期 東ア船 10月～12月
世界船 1月～3月

令和元年度 併願希望者数
→ 応募者数648人中52人（8%）
が併願を希望



令和3年度オンライン交流の例

交流事業の趣旨を踏まえて

- ・日中、日韓交流事業で併願可能
= 親善交流事業
= 二国間交流
= 通訳がつき、応募に語学要件がない
- ・育成事業、東ア船、世界船で併願可能
= 多国間交流
= 事業の公用語は英語

令和3年度 併願希望者数
→ 応募者数226人中79人（35%）
が併願を希望

▶ 令和3年度のオンライン事業では、試験会場への往訪等が不要であり、併願者の割合が増
他方で、対面・オンライン事業にかかわらず、複数事業の併願者の中には、希望順位の低い事業に対する
志望動機が不明確な者もあり。

6. 令和元年度実施 東京・大阪会場受験者数

- 令和元年度から応募者増及び負担軽減のため、全ての事業において第二次選考（筆記試験・面接試験）の試験会場に大阪を追加 ※令和元年度までは、東京都（内閣府庁舎）で実施
- 併願を含めた応募数で集計すると、下記のとおり全事業で約30%が大阪会場を希望
- また、前年度と比較すると多くの事業で応募者数が微増

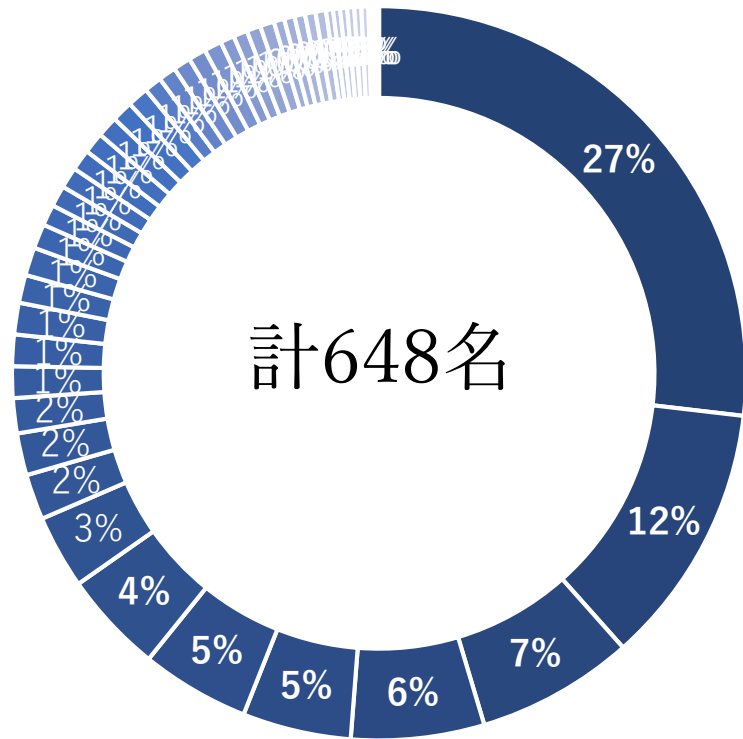
(単位：人)

	育成	日中	日韓	東ア	世界船	合計
東京会場	76	39	36	87	279	517
大阪会場	31	14	15	24	108	192
大阪会場の割合	29.0%	26.4%	29.4%	21.6%	28.3%	28.2%
令和元年度計	107 (↑)	53 (↑)	51 (↓)	111 (↑)	387 (↑)	704 (↑)
平成30年度計	103	41	57	105	364	670

▶ およそ3割が大阪会場を希望していたことや、前年度と比較して応募者が増となっていることを踏まえると、試験会場の地理的不便性を理由に、応募をためらっていた青年もいたことが想定される。

7. 令和元年度内閣府青年国際交流事業の応募者の住民票所在地（都道府県別内訳）

（単位：人）



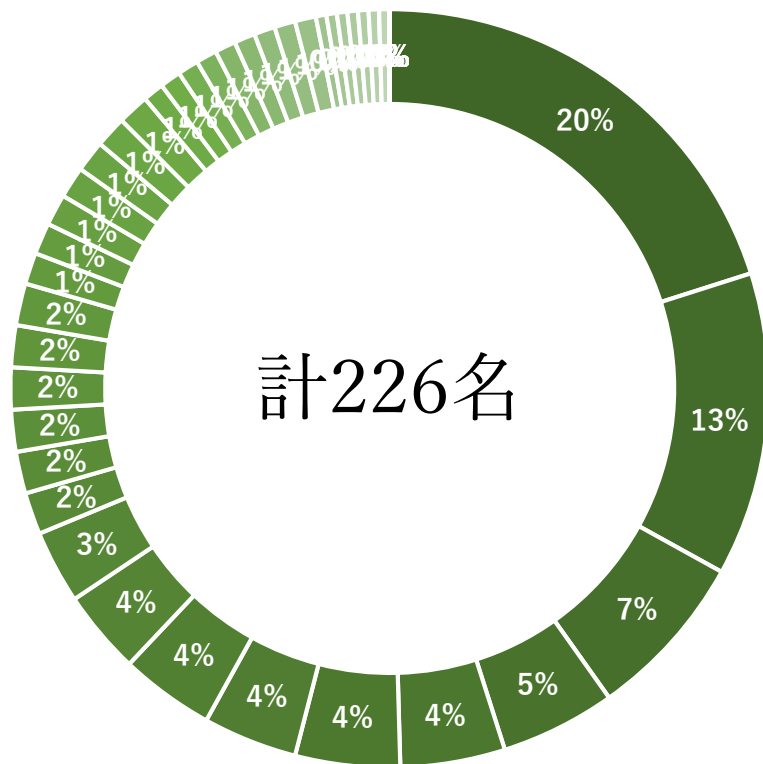
■ 東京 174	■ 神奈川 75	■ 埼玉 45	■ 千葉 38	■ 愛知 31
■ 大阪 31	■ 兵庫 29	■ 京都 21	■ 茨城 13	■ 北海道 12
■ 福島 10	■ 静岡 9	■ 滋賀 9	■ 青少年団体推薦 9	■ 秋田 8
■ 山梨 8	■ 広島 7	■ 山形 6	■ 栃木 6	■ 石川 6
■ 奈良 6	■ 島根 6	■ 岡山 6	■ 高知 6	■ 福岡 6
■ 宮城 5	■ 岐阜 5	■ 愛媛 5	■ 鹿児島 5	■ 沖縄 5
■ 青森 4	■ 新潟 4	■ 熊本 4	■ 大分 4	■ 群馬 3
■ 長野 3	■ 三重 3	■ 佐賀 3	■ 長崎 3	■ 岩手 2
■ 鳥取 2	■ 山口 2	■ 徳島 2	■ 香川 2	■ 宮崎 2
■ 富山 1	■ 福井 1	■ 和歌山 1		



応募者のうちの約50%が1都3県（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）出身
筆記試験及び面接試験会場である東京・大阪にアクセスしやすい地域からの応募が多い

※ 第一次選考試験申込先の都道府県及び参加申込書記載の住民票所在都道府県を基に内閣府青年国際交流担当室で作成
※ 応募者とは、内閣府青年国際交流事業の参加申込書を提出した者であり、参加申込書提出後に選考を辞退した者も含む。

8. 令和3年度内閣府青年国際交流事業の応募者の住民票所在地（都道府県別内訳）



(単位：人)

東京 45	神奈川 29	大阪 16	埼玉 11	茨城 10	愛知 10
千葉 9	兵庫 9	福岡 8	岐阜 7	栃木 4	京都 4
岡山 4	愛媛 4	大分 4	沖縄 4	山梨 3	静岡 3
三重 3	奈良 3	鳥取 3	広島 3	香川 3	北海道 2
宮城 2	福島 2	富山 2	福井 2	長野 2	山口 2
長崎 2	鹿児島 2	青森 1	秋田 1	山形 1	新潟 1
和歌山 1	島根 1	宮崎 2 ※	台湾 1	岩手 0	群馬 0
石川 0	滋賀 0	徳島 0	高知 0	佐賀 0	熊本 0



選考をオンラインで行ったところ、令和元年度は応募者のうちの約50%が1都3県（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）出身だったが、今年度は約40%と低下し、その他の地域の割合が増加した。

※ 令和3年度オンライン事業参加申込書に記載されている住民票所在都道府県を基に内閣府青年国際交流担当室で作成。

（うち1名は、住民票所在都道府県が無記載につき、現住所を基に集計し、宮崎県に計上）

※ 応募者とは、内閣府青年国際交流事業の参加申込書を提出した者であり、参加申込書提出後に選考を辞退した者も含む。

9. 内閣府青年国際交流事業オンライン説明会の実施

- コロナ禍を契機に、これまでの対面による事業説明会を**完全オンライン化**
- 令和元年度に対面で行った事業説明会では、全17回で221人の参加登録があったのに対し、今年度は全**6**回で既に**約600人**の参加希望あり（現在、第5回まで実施済）



内閣府青年国際交流事業オンライン説明会
~LIFE CHANGING EXPERIENCE~

令和4年度
#国際社会青年育成事業 #日本・中国青年親善交流事業
#日本・韓国青年親善交流事業 #東南アジア青年の船事業
#世界青年の船事業 の説明会を実施します!



翌年度の事業参加青年の募集の観点から事業説明会を実施
令和元年度までは、内閣府講堂や既参加青年（OB・OG）が所属する大学等で説明会を実施

<説明会内容>

- ① 各事業の概要
- ② プログラムの所要日数、日程
- ③ 選考スケジュール
- ④ 既参加青年（事業のOB・OG）の体験談

▶ 今年度、オンライン説明会を実施したところ、**参加希望者数が倍増**
開催日時も、平日のお昼休憩中や、19時以降などオンラインならではの設定

■ 日程（全6回開催、途中入退室可）

- ① 2021年12月7日(火) 12:00-13:00 (60分)
- ② 2021年12月15日(水) 12:00-13:00 (60分)
- ③ 2022年1月19日(水) 19:00-20:30 (90分)
- ④ 2022年1月25日(火) 19:00-20:30 (90分)
- ⑤ 2022年2月16日(水) 19:00-20:30 (90分)
- ⑥ 2022年3月9日(水) 12:00-13:00 (60分)

<当日の流れ（各回共通）>

- 1 内閣府からの事業概要・募集概要説明
- 2 **OB・OGからの体験談を報告**
- 3 事後活動組織について紹介
- 4 質疑応答

※①②③は事業参加当時学生だったOB・OG
④⑤⑥は事業参加当時社会人だったOB・OG
の登壇を予定しております。

■ 説明会申込方法

下記のフォームから登録ください！
<https://form.cao.go.jp/youth/opinion-0239.html>



申込み締切りは
各回 **前々日の正午** まで

■ 問合せ先：事業説明会事務局
(一財)青少年国際交流推進センター 担当：工藤
電話:03-3249-0767 Email: setsumeikai@centerye.org

ひらけ、世界！
日本代表青年として、特別な国際交流を
~オンライン説明会実施中~

- (↑) 政府広報に依頼を行い、スマホ版やフーバー広告の実施
- (←) SNSや内閣府HP掲載用にチラシを作成

Yahoo!ニュース（スマホ版）へ
事業説明会の広告掲載

掲載期間：1月3日～1月9日（7日間）

インプレッション数：**4,900万**
（公告が掲載された数）

アクセス数：**1.3万**
（ユーザーによって広告がクリックされた数）